

概要版

平成20年度予算要求状況について

平成19年11月

北九州市

【 目 次 】

| | (頁) |
|--|---------|
| はじめに | ・・・ 1 |
| 平成 2 0 年度予算編成の 2 つの柱 | ・・・ 2 |
| 1 「ハートフル北九州（人にやさしく、元気なまち）」の構築 | |
| 2 厳しい財政事情と行財政改革の断行 | |
| 平成 2 0 年度予算要求状況の概括 | ・・・ 3 |
| 1 平成 2 0 年度予算要求の規模等 | |
| 2 一般会計予算要求の状況 | |
| 「ハートフル北九州の構築」に向けた主要施策の要求状況 | ・・・ 7 |
| 1 「子育て日本一を実感できる子育て支援の重点化」 | |
| 2 「子どもたちの確かな成長を支える教育の重点化」 | |
| 3 「老若男女がともに生きるための福祉の充実」 | |
| 4 「美しき世界の環境首都の実現」 | |
| 5 「元気で可能性に満ちた経済都市づくり」 | |
| 6 「安全・安心や健康・子育てなどハートフルなまちづくり」 | |
| 7 「市民と共に歩む市政運営の推進」 | |
| 8 「観光・文化・スポーツの充実」 | |
| 徹底した行財政改革に向けた改革案 | ・・・ 2 0 |
| 1 平成 2 0 年度予算における大まかな経営改善の枠組み （一般財源ベース） | |
| 2 主な行財政改革項目 | |

はじめに

私は、「平成20年度北九州市経営方針（素案）」において、「ハートフル北九州（人にやさしく、元気なまち）の構築」を、新しい市の目標としました。目指すべき「新しい旗」を、高々と掲げました。

そして、「ハートフル北九州マニフェスト」の完全実施を至上命題として、全力で取り組んでいく考えです。

しかし、現在の大変厳しい財政事情を考えれば、その実現は簡単ではありません。このため、必要な財源捻出に向けて、引き続き行財政改革を断行する決意です。

平成20年度予算は、私の2度目の予算編成となります。予算は、「人にやさしく元気なまちづくり」に向けて、市が来年度何を行うかを決める「設計図」です。

今回、全国的にも珍しい取り組みですが、予算を編成するプロセスを市民や市議会の皆様に公開することとしました。市の財政状況をよくご理解の上で、政策や行財政改革の面でご意見をいただき、それを参考として、予算を作っていきたいと考えています。

今後とも「市民主体のまちづくり」を行ってまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

平成19年11月20日

北九州市長 北橋 健治

平成20年度予算編成の2つの柱

1 「ハートフル北九州（人にやさしく、元気なまち）」の構築

「ハートフル北九州（人にやさしく、元気なまち）」の構築に向けた「選択と集中」を図るため、以下の8項目の「重点戦略分野」を定めた。

- ア 子育て日本一を実感できる子育て支援の重点化
- イ 子どもたちの確かな成長を支える教育の重点化
- ウ 老若男女がともに生きるための福祉の充実
- エ 美しき世界の環境首都の実現
- オ 元気で可能性に満ちた経済都市づくり
- カ 安全・安心や健康・子育てなどハートフルなまちづくり
- キ 市民と共に歩む市政運営の推進
- ク 観光・文化・スポーツの充実

2 厳しい財政事情と行財政改革の断行

三位一体の改革等の影響による地方交付税の大幅な減少と、これまでの積極的な公共投資による公債費の増加等により、大幅な歳出超過・歳入不足が現時点で発生している。

この財政不均衡は、平成21年度をピークに拡大が見込まれており、何も対策を講じなければ、最悪の場合「財政破たん」に陥る大変厳しい状況にある。

そこで、マニフェスト所要財源を前提として、平成20年度から平成22年度までに、一般財源ベースで、毎年度最低でも100億円ずつの新たな経営改善を行い、収支が均衡した健全財政への回復を図る。

平成20年度予算要求状況の概括

1 平成20年度予算要求の規模等

平成20年度予算要求の規模は、一般会計5,170億円、普通特別会計5,464億円、企業会計1,312億円であり、総額では1兆1,946億円となっている。

《全会計の予算規模》

(単位:百万円、%)

| | 平成20年度 要 求 | 平成19年度 | 差 引 (-) | |
|--------|---------------|-----------|-----------|------|
| | | | 金 額 | 伸 率 |
| 一般会計 | 516,986 | 505,412 | 11,574 | 2.3 |
| 普通特別会計 | 546,411 | 626,704 | 80,293 | 12.8 |
| 企業会計 | 131,250 | 127,789 | 3,461 | 2.7 |
| 合 計 | 1,194,647 | 1,259,905 | 65,258 | 5.2 |

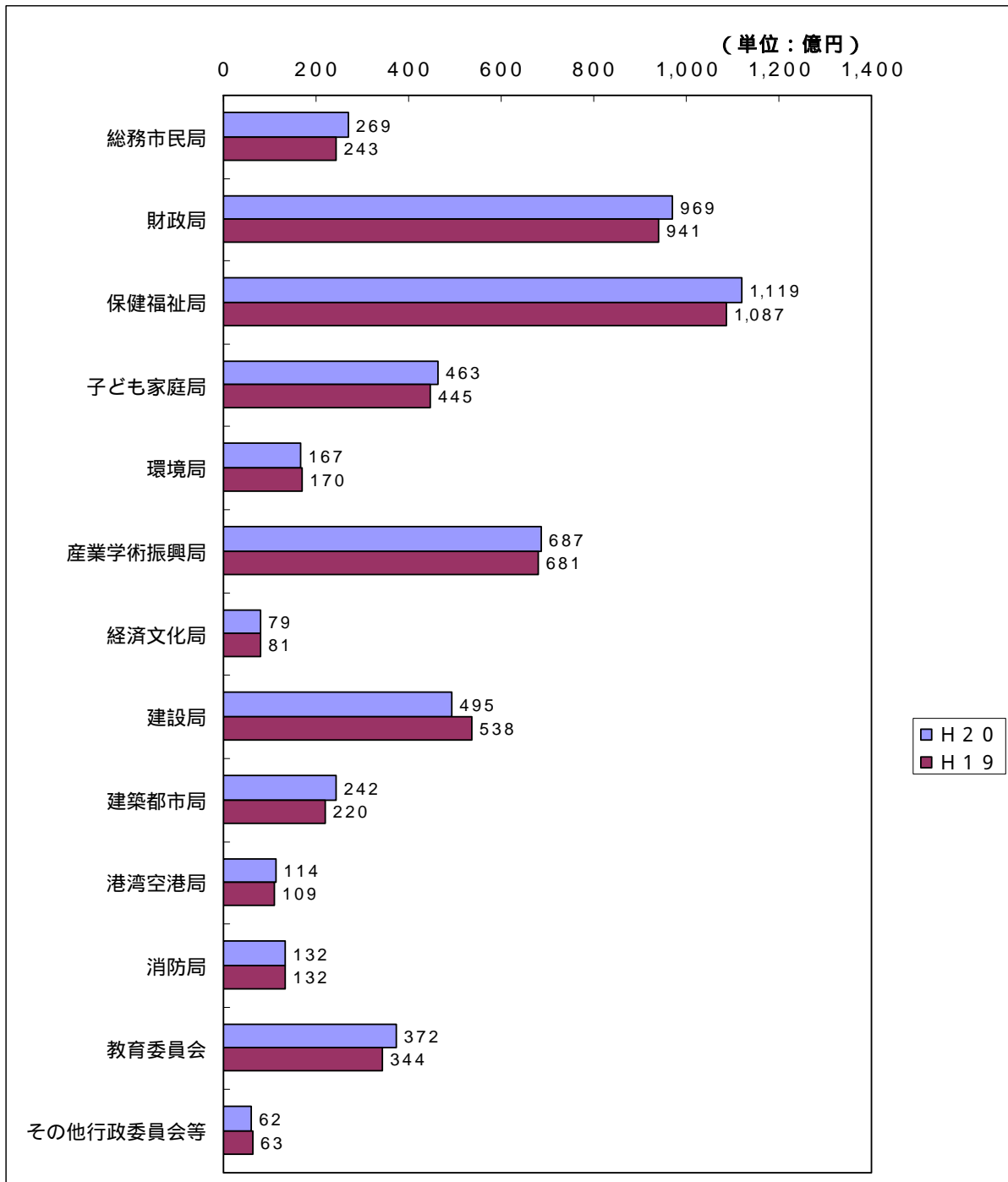
2 一般会計予算要求の状況

- 一般会計予算の要求規模は 5,170億円、前年度に比べ116億円の増、率にして2.3%の増となっている。

主な事業別の増理由は下記のとおり。

| | |
|-----------------------------|-----------|
| 生活保護費（保健福祉局） | + 約 31 億円 |
| 新 後期高齢者医療制度関係（保健福祉局） | + 約 42 億円 |
| 国際物流特区企業集積特別助成金（産業学術振興局） | + 約 16 億円 |
| 小中学校校舎等耐震補強（教育委員会） | + 約 13 億円 |
| 安全対策・水道広域化事業（水道局） | + 約 16 億円 |

《各局別の平成20年度予算要求状況（一般会計）》



平成20年度予算要求状況（普通特別会計）

（単位：百万円）

| | 平成20年度 要 求 額 | 平成19年度 | 増 減 額 |
|--------------|-----------------|---------|---------|
| 国民健康保険 | 126,030 | 125,148 | 882 |
| 食肉セクタ－ | 459 | 622 | 163 |
| 簡易水道 | 1 | 1 | 0 |
| 中央卸売市場 | 1,151 | 999 | 152 |
| 渡 船 | 513 | 370 | 143 |
| 国民宿舎 | 19 | 13 | 6 |
| 競 輪、競艇 | 108,881 | 85,737 | 23,144 |
| 土地区画整理 | 2,164 | 1,141 | 1,023 |
| 土地区画整理事業清算 | 43 | 7 | 36 |
| 港湾整備 | 12,592 | 23,236 | 10,644 |
| 公債償還 | 192,139 | 192,894 | 755 |
| 住宅新築資金等貸付 | 123 | 195 | 72 |
| 土地取得 | 29 | 34 | 5 |
| 老人保健医療 | 12,808 | 119,133 | 106,325 |
| 駐 車 場 | 772 | 898 | 126 |
| 母子寡婦福祉資金 | 536 | 513 | 23 |
| 産業用地整備 | 3,588 | 2,132 | 1,456 |
| 廃棄物発電 | 1,000 | 1,862 | 862 |
| 漁業集落排水 | 40 | 30 | 10 |
| 介護保険 | 67,831 | 67,854 | 23 |
| 空港関連用地整備 | 15 | 360 | 345 |
| 学術研究都市土地区画整理 | 1,722 | 1,545 | 177 |
| 臨海部産業用地貸付 | 593 | 1,980 | 1,387 |
| 後期高齢者医療 | 13,362 | 0 | 13,362 |
| 普通特別会計 合計 | 546,411 | 626,704 | 80,293 |

後期高齢者医療特別会計は、平成20年度設置予定

平成20年度予算要求状況（企業会計）》

（単位：百万円）

| | 平成20年度 要 求 額 | 平成19年度 | 増 減 額 |
|---------------|-----------------|---------|-------|
| 上 水 道 事 業 | 39,732 | 35,064 | 4,668 |
| 工 業 用 水 道 事 業 | 4,546 | 3,279 | 1,267 |
| 交 通 事 業 | 2,398 | 2,649 | 251 |
| 病 院 事 業 | 28,833 | 29,358 | 525 |
| 下 水 道 事 業 | 55,741 | 57,439 | 1,698 |
| 企業会計 合 計 | 131,250 | 127,789 | 3,461 |

「ハートフル北九州の構築」に向けた主要施策の要求状況

* 本資料は、平成20年度予算にかかる各局・区からの要求を取りまとめたものであり、今後の予算編成作業により、事業の採択・不採択、事業内容・事業費の変更等が生じるため、予算案として確定したものではありません。

1 「子育て日本一を実感できる子育て支援の重点化」

市民、企業等との協働により、日本一の水準で「子どもの成長と子育てを地域で支えあうまち」、そして「男女が共に持てる力を十分に発揮できるまち」を実現します。

主な新規・拡充事業

ア) **新**(仮称)親子ふれあいルーム(子育て広場)整備事業

【子ども家庭局】 29百万円

《概要》乳幼児を持つ保護者の子育てへの不安を軽減するため、親子が気軽に集い、交流、情報交換、育児相談ができるスペースを、区・地域レベルで整備する。

(区レベル...区役所など、地域レベル...児童館、市民センターなど)

イ) **新**(仮称)赤ちゃんの駅設置事業【子ども家庭局】7百万円

《概要》公民が協力して、乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やオムツ換えができる施設を(仮称)「赤ちゃんの駅」として指定し、子育てを行う親が安心して生活できる環境を整備する。

ウ) **拡**放課後児童健全育成事業【子ども家庭局】

763百万円(うち拡充分280百万円)

《概要》放課後児童クラブを現在未実施の小学校区に新設するとともに、狭隘施設の改築や、大規模クラブの適正化等により、小学校低学年児童の健全育成のための環境整備を拡充する。

エ) **拡**総合周産期母子医療センター・小児救急センターの充実

【病院局】 1,814百万円(うち拡充分128百万円)

《概要》医療センター内の総合周産期母子医療センターの機能を強化するため、医師の確保や医療機器の充実を図る。

また、八幡病院内の小児救急センターについて、子どもの療養環境を改善するとともに、医療スタッフを増員する。

オ) **新**(仮称)「ワーク・ライフ・バランス」推進事業

【子ども家庭局】 8百万円

《概要》「ワーク・ライフ・バランス」に関する市民や企業への啓発及び男性の育児参加の促進を図るため、ワーク・ライフ・バランス推進員の設置、写真や川柳等のコンテスト、父親向けの育児講座等を実施する。

カ) **新**認可外保育施設への指導【子ども家庭局】 8百万円

《概要》認可外保育施設へのきめ細やかな指導を行うため、認可保育所の所長経験者2名を指導員として配置するとともに、認可外保育施設の保育従事者の資質向上のため、条件整備を行う。

2 「子どもたちの確かな成長を支える教育の重点化」

未来を担う子どもたちの教育を確かなものにするため、「体力や学力の向上」、「豊かな心の醸成」、「個性や特性を伸ばす教育」などを着実に推し進めます。

主な新規・拡充事業

ア) **継**子どもの未来をひらく教育改革会議

【教育委員会】 7百万円

《概要》北九州市教育行政総合計画(いきいき学びプラン)を踏まえ、学校、家庭、地域の果たすべき役割及び市民全体で次代を担う人材を育むあり方について、市民の英知を結集し、政策提言を行う。

イ) **拡**少人数学級(35人以下学級)の実施【教育委員会】

116百万円

《概要》平成20年度から小学校1年生及び中学校1年生について、1学級の人数を35人以下とする少人数学級を導入する。また、平成21年度には、小学校2年生まで対象を拡大する。

ウ) **継**中学校完全給食モデル事業【教育委員会】 69百万円

《概要》中学校給食について、民間調理場方式(食缶配送、弁当箱配送)、親子方式(食缶配送)によるモデル事業を、引き続き4校で実施し、実施状況を検証する。

エ) **新**体力アップ推進事業【教育委員会】 66百万円

《概要》小学校段階ではダンス活動等による全体の底上げを図り、中学校段階では部活動等を通じた更なる体力の向上を図る。

オ) **継**さわやかトイレ整備事業【教育委員会】 712百万円

《概要》悪臭対策、小学校トイレ完全男女別化工事、洋式便器の増設、内壁及び天井等の塗装等を内容とする「明るく、清潔な」トイレの整備を引き続き進め、平成22年度までに対象校全てを完了する。

カ) **新**アクアフレッシュ事業【水道局】 35百万円

《概要》小・中学校の直接給水への切り替えを促進する。

キ) **継**学校施設の大規模改修工事、耐震補強事業
【教育委員会】 2,653百万円

《概要》学校施設に必要な耐震性を確保するため、校舎等の耐震診断や耐震補強工事を行う。また、それにあわせて、老朽化した給排水管設備等の改修や床、天井及び内外壁の改修等の大規模改修を行う。

3 「老若男女がともに生きるための福祉の充実」

福祉行政は今、転機を迎えており、“すべてのいのちを大切にする”という強い信念のもと、『生命』を尊び、真に市民に信頼される『健康福祉日本一』を目指します。

主な新規・拡充事業

ア) **新**いのちをつなぐネットワーク構築事業【保健福祉局】

40百万円

《概要》子どもから高齢者まで障害者も含めた全ての市民のいのちを尊重するセーフティネットワークを再構築する。

イ) **継**(仮称)北九州市保健福祉オンブズパーソン事業

【保健福祉局】 12百万円

《概要》保健福祉サービスに関する市民からの苦情相談を受け、中立・公正な第三者の立場で調査・検討することにより、改善策を講じる同制度を導入し、保健福祉サービス利用者全体の権利及び利益を保護し、サービスの一層の充実を図る。

ウ) **新**(仮称)生活保護関係職員研修事業【保健福祉局】4百万円

《概要》生活保護行政検証委員会からの提言の一つである「研修」に関して、福祉事務所の職員を対象とする接遇やカウンセリング技法等に関する研修、民生委員・保健師等を対象とする生活保護制度に関する研修を行う。

エ) **新**認知症啓発・対策推進事業【保健福祉局】 26百万円

《概要》「認知症になっても安心してその人らしくいきいきと暮らせるまち」の実現のため、(仮称)認知症対策推進専門委員会を中心に、予防からケア、家族支援、地域づくりまで総合的な認知症対策の充実を図る。

オ) **新**健康づくり推進キャンペーン

拡(仮称)いきいき高齢者の健康まつり

【保健福祉局】 50百万円(うち拡充分2百万円)

《概要》健康に対する市民意識の高揚を図るため、健康フェアやウオーキング大会等の各種イベント、検診啓発活動を実施するとともに、介護予防普及啓発事業として、「(仮称)いきいき高齢者の健康まつり」を開催するなど、キャンペーン形式で実施する。

カ) **拡**健康診査【保健福祉局】375百万円(うち拡充分20百万円)

《概要》受診率向上の方策の一環として、受診料が千円を超える検診(乳がん、子宮頸部がん、胃がんなど)の自己負担金を千円に引き下げる。

キ) **拡**がん診療機能の強化【病院局】49百万円

《概要》医療センターの外來化学療法室を整備するとともに、化学療法に係る専門の医師・看護師を配置するなど、がん診療機能の強化を図る。

ク) **新**障害者の店((仮称)元気ショップ)開設事業

【保健福祉局】29百万円

《概要》障害者小規模共同作業所等の授産製品を市民に購入してもらうことにより、授産製品の幅広い浸透や、売れる商品づくりを喚起するため、本市障害福祉行政のシンボリックな店舗を繁華街に設置する。

ケ) **継**小池学園成人部改築移転【保健福祉局】44百万円

《概要》老朽化が著しい小池学園成人部を移転改築する。

基本設計、実施設計、地質調査

4 「美しき世界の環境首都の実現」

「市民環境力」の強化、地球温暖化防止対策の推進、廃棄物の減量・リサイクルの推進、環境ビジネス・環境国際協力の促進など、環境首都に向けた取組みを推進します。

主な新規・継続事業

- ア) **継**菜の花プロジェクト推進事業【環境局】 3百万円
《概要》子どもからお年寄りまで、市民みんなで楽しみながら資源循環や新エネルギー利用を体感できる「菜の花プロジェクト」を推進する。
- イ) **新**100万本植樹・美しいまちづくり事業【環境局】 14百万円
《概要》「美しき世界の環境首都」に相応しい、市民が誇りを持てる美しいまちを創るため、市民参加型の「100万本植樹活動」を実施する。
- ウ) **継**次世代エネルギーパーク構想推進事業【環境局】 44百万円
《概要》若松区響灘地区に立地する風力発電などのエネルギー関連施設をピタズインダストリー、地域の活性化につなげるため、エコタウンセンター内での展示ルームの整備、共通ガイドブックの作成などを実施する。
- エ) **新**光化学スモッグ発生原因の究明に関する調査【環境局】 20百万円
《概要》国や県と連携し、大陸からの大気汚染物質の影響や市内のオキシダント発生量に関する調査・研究を行う。
- オ) **継**太陽光発電等への補助金交付事業【環境局】 23百万円
《概要》「北九州市地球温暖化対策地域推進計画」を踏まえ、新エネルギーや省エネルギーに係る整備費の一部を補助することによって家庭や事業所における地球温暖化防止対策を推進する。
- カ) **継**C A S B E E 北九州の構築【建築都市局】 2百万円
《概要》「建築物総合環境性能評価制度」の創設に伴い、新たに開発した「C A S B E E 北九州」の普及啓発活動を行う。

5 「元気で可能性に満ちた経済都市づくり」

新たな成長産業の立地促進や地域産業の活性化により、企業の集積をさらに進めるとともに、若者等の雇用対策を強化します。また、必要な都市基盤の整備を進めます。

主な新規・継続事業

ア) 継国際物流特区企業集積特別助成金

【産業学術振興局】 5,142百万円

《概要》本市の経済振興、雇用創出・拡大を図るため、市内（活性化重点区域）に工場等の新設・増設を行う企業に対して助成を行う。

交付対象：約30社（見込み）

投資総額：約822億円（見込み）

* なお、企業立地促進法（企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律）に基づく固定資産税の減額制度の創設について検討中。（財政局）

イ) 継北九州空港移転跡地産業団地整備事業

【産業学術振興局】 438百万円

《概要》大規模な分譲が可能である北九州空港移転跡地の一部を、新たな産業団地として整備する。

ウ) 新誘致企業社員の市内定住促進事業

【産業学術振興局】 2百万円

《概要》地域経済の活性化に向けて、本市の雇用や人口の増加を図るため、誘致企業社員に対する定住促進策に取り組む。

エ) 新（仮称）集まれ若者！キタキュー就職促進事業

【産業学術振興局】 24百万円

《概要》若年求職者の地元企業に対する理解の促進や、地元企業の若年者雇用能力の向上に重点を置いた施策を展開する。

オ) 継「明日の農林水産業を考える懇話会」運営経費

【経済文化局】 3百万円

《概要》農林水産業が抱える課題について、生産者、消費者、流通関係者などから幅広く意見を聴き、今後の農林水産業振興施策に反映させる。

カ) **継**主要幹線道路の整備【建設局】 14,505百万円

《概要》 新若戸道路、国道3号黒崎バイパス、
国道211号、砂津長浜線、尾倉ランプ(戸畑大谷線)、
都市計画道路9号線(熊谷~高野) など

キ) **継**中心市街地の道路整備の推進【建設局】

6,682百万円

《概要》 小倉都心部・・・大門木町線、紫川東線、城内大手町線など
黒崎副都心・・・黒崎駅前線など
折尾地区・・・折尾駅周辺連続立体交差事業など

ク) **継**小倉駅南口東地区市街地再開発事業

【建築都市局】 421百万円

《概要》 オフィスを中心とした多機能な再開発ビルを一体的に整備すること
とで、小倉駅前にふさわしい良好な都市空間と、新たな雇用促進に
よる賑わいの創造を目的とした市街地再開発事業を行う。

6 「安全・安心や健康・子育てなどハートフルなまちづくり」

すべての市民が、住み慣れた地域で、健やかに安心して暮らしていただけるまちづくりを進めます。

主な新規・継続事業

ア) 継黒崎副都心「文化・交流拠点地区」整備事業【建築都市局】

76百万円

《概要》厚生年金病院跡地などへの導入施設を対象に、民間活力導入の可能性検討及び整備方針を策定するとともに、暫定広場の管理を行う。

イ) 継西小倉駅前第一地区市街地再開発事業

【建築都市局】 511百万円

《概要》西小倉駅前地区において、まちなか居住を促進する住機能導入と都市計画道路小倉中央線の歩道整備事業を併せた市街地再開発事業を行う。

ウ) 継(仮称)堺町安全・安心センター建設事業

【総務市民局】 81百万円

《概要》福岡県警の堺町特別対策隊の仮設建物を、市集会所を併設した施設として建替え、暴力団の壊滅や繁華街の活性化に向けた警察・市民活動の拠点として整備する。

エ) 継防犯灯関連事業【総務市民局】

193百万円

《概要》夜間の犯罪を防止し、通行の安全を図るため、自治会などに対し、設置費や維持管理費(電気代など)の一部を補助するなど、防犯灯の整備促進を図る。

オ) 継地域防犯対策事業【総務市民局】

47百万円

《概要》全小学校区で結成された「生活安全パトロール隊」に対し、引き続き支援を行うとともに、隊員のレベルアップを目的とした研修や活動意欲喚起・情報交換の場となる「北九州市民防犯大会」を実施する。また、子どもたちの安全対策として、小学生などを対象とした「安全セミナー」を開催する。

カ) **新**第37回全国消防救助技術大会の開催

【消防局】 24百万円

《概要》消防の技術の向上と消防技術を広く市民にアピールすることを目的として、全国から選ばれた約1,000人の救助隊員が人命救助技術を披露する。

キ) **継**「ハートフル公園計画」の推進【建設局】 30百万円

《概要》まちづくり協議会を中心に、計画段階から地域の声を幅広く聞き、地域のニーズを踏まえた機能を持たせることで、これまで以上に公園が利用されるように「ハートフル公園計画」を推進する。

ク) **継**北部福岡緊急連絡管整備及び水道用水供給事業

【水道局】 9,056百万円

《概要》災害時など緊急時に本市と福岡都市圏で相互に水の融通を図るため、緊急連絡管(約50km)の整備を行う。

また、併せて、水道用水供給事業のための施設整備を推進する。

ケ) **継**バス運行事業【交通局】 2,324百万円

《概要》「市営バス事業経営改善計画」の目標達成に向けて、最大限の経営改善努力を行うとともに、市民・利用者に安全かつ便利なサービスを提供する。

7 「市民と共に歩む市政運営の推進」

本市の将来のまちづくりの指針として新・基本構想を策定するとともに、地域活動や市民活動を積極的に支援することで、他都市では例を見ない、新たな市民主体の地域づくりを推進します。

さらに、「(仮称)北九州市経営プラン」を策定するなど、他都市より一歩進んだ「都市経営体制」を構築します。

主な新規・継続事業

ア) **継新・北九州市基本構想策定事業【企画政策室】** 30百万円

《概要》本市の基本構想であるルネッサンス構想策定から20年を経て、社会・経済状況の変化に伴う新たな課題に対応するため、概ね10年先を展望する新しい基本構想を策定する。

イ) **継自治基本条例の制定【総務市民局】** 12百万円

《概要》市民参加のあり方や行政の説明責任、市民と行政との協働の仕組みなど、まちづくりの基本ルールを定め、市の最高規範となる「自治基本条例」の制定を進める。

ウ) **新「(仮称)北九州市経営プラン」策定・広報事業【財政局】**
5百万円

《概要》「ハートフル北九州」構築に向けて、「北九州市経営基本計画(平成18年12月策定)」、「北九州市経営改革大綱(平成18年6月策定)」の2つを統合し、平成21年度以降の中期的な市政経営の方針となる「(仮称)北九州市経営プラン」を策定し、市民等への広報を実施する。

エ) **継コミュニティ活動促進事業【総務市民局】** 18百万円

《概要》地域づくり活動の活性化を図るため、自治会への加入を促進するとともに、地域のまちづくり計画の策定、人材育成など、地域の課題解決へ向けて、「校区まちづくり<企画・実践>事業」などを実施する。

オ) **継**NPO・ボランティア活動促進事業、
まちづくりステップアップ事業【総務市民局】 31百万円

《概要》 NPO・ボランティア活動促進事業

市民活動の促進のため、市民活動サポートセンターを拠点として、NPO・ボランティア活動の相談受付や情報提供、研修・啓発など各種支援を実施するほか、「(仮称)市民活動支援に係る評価等委員会」で支援などの評価・検証や、新たな支援のあり方について検討する。

まちづくりステップアップ事業

まちづくり団体が取り組む地域の特性を活かした自主事業やNPO法人などが行う専門性を発揮した先進的な事業などに対して助成を行う。

カ) **継**区の新たな魅力づくり事業【総務市民局】 94百万円

《概要》区レベルの課題解決や市民生活に密着した魅力的な施策を展開するため、区役所が区経営の視点から、直接予算要求を行い、事業を実施する。

* 各区の主な事業

「門司港アート推進事業」(門司区)

小倉イルミネーション2008など

都心部公共空間賑わい創造事業(小倉北区)

平尾台集客増加事業(小倉南区)

若松の顔づくり・賑わいづくり推進事業(若松区)

住みやすいまちづくり推進事業(八幡東区)

「長崎街道」の歴史と文化を活かしたまちづくり事業(八幡西区)

とばたガーデニング物語事業(戸畑区)

8 「観光・文化・スポーツの充実」

まちのにぎわいづくりや文化に親しむ環境づくりを推進し、明るく元気のあるまちづくりを進めます。

主な新規・継続事業

- ア) **継**門司港レトロ観光列車推進事業【経済文化局】 333百万円
《概要》臨港鉄道を活用して、門司港レトロ地区と和布刈地区との間に観光列車を運行する。平成21年度の開業を目指して、車両やホーム等の整備を行う。
- イ) **新**東アジアゲートウェイ観光プロモーション事業
【経済文化局】 38百万円
《概要》北九州空港に加え、平成20年度に門司港と韓国・釜山港とを結ぶ国際定期航路の開設が予定されることから、韓国や中国などを対象とした観光プロモーション活動の充実や、旅行会社に対する旅行商品造成の働きかけなどにより、海外からの観光客の誘致を推進する。
- ウ) **継**(仮称)北九州市漫画ミュージアム開設準備事業
【経済文化局】 58百万円
《概要》松本零士氏をはじめとする地元ゆかりの漫画家とその作品を中心に、さまざまな漫画の魅力を幅広い世代に伝える漫画文化の拠点施設「(仮称)北九州市漫画ミュージアム」の開設に向けた準備を行う。
- エ) **継**若松運動場の改修【教育委員会】 34百万円
《概要》全国大会等の大規模な大会を誘致し、スポーツ振興を推進することを目的として、若松運動場を野球場に改修するための、測量調査、実施設計等を行う。
- オ) **新**障害者の社会参加の促進強化【保健福祉局】 12百万円
《概要》小学生ふうせんバレーボール大会などを実施する。また、障害者について、市営の温水プールなど身近なスポーツ施設の利用を促進し、スポーツ人口の拡大を目指すことにより、社会参加の一層の促進を図る。

徹底した行財政改革に向けた改革案

「経営基本計画」や「経営改革大綱」に掲げられた項目について充実した取り組みを進め、一般財源ベースで100億円以上の経営改善を行う。

なお、平成20年度に、平成21年度以降の中期的な市政経営の方針である「(仮称)北九州市経営プラン」を策定する。

1 平成20年度予算における大まかな経営改善の枠組み(一般財源ベース)

(単位:億円)

| 区 分 | 平成20年度 見込額 | 備 考 |
|---------------------|---------------|---|
| 裁量的経費の削減 | 43 | ・裁量的経費の削減 (物件費 10%) (補助費等 5%) など * 外郭団体の見直し * 民間委託の見直し * 維持管理費の見直し など |
| 公共投資の重点化・抑制 | 15 | ・前年度比約7%減 |
| そ の 他 | 42 | ・事務・事業の見直し ・未利用市有地の売却促進 ・市税・税外債権の収入率の向上 ・特定目的基金の統廃合 ・特別会計の剰余金の活用 ・工業用水道事業会計からの長期貸付金の返還 |
| 平成20年度予算における経営改善見込額 | 100 | |

人件費については、職員8,000人体制に向け、平成20年度は、約180人削減される予定であるが、退職手当の増により、平成20年度の削減効果は相殺される見込み(平成21年度以降は削減効果が発生)。

2 主な行財政改革項目

* 本資料は、平成20年度予算にかかる各局・区からの要求を取りまとめたものであり、今後の予算編成作業により、追加も含め、内容の変更等が生じるため、予算案として確定したものではありません。

(1) 財源調達が多様化と充実

| 見直し項目 | 局 室 名 | 見 直 し 内 容 |
|------------------|-------|---|
| 未利用市有地の積極的な処分・活用 | 財 政 局 | 平成20年度から3年間で「未利用市有地売却計画」の集中的な取組期間として、当初計画では15億円としていた年間売却目標額を更に上回る売却額を確保する。 |
| 市税・税外債権の収入率の向上 | 財 政 局 | 組織的・法的な滞納整理の強化等により、平成22年度までに市税収入率を現在の96.3%（平成18年度決算：政令市4位）から96.5%に向上させるとともに、税外債権の収入率向上に努める。 |
| 特定目的基金の廃止・統合 | 財 政 局 | 民間からの寄付金によるもの等を除き、原則全ての特定目的基金を統廃合し、財源として活用する。 |
| 特別会計の剰余金の活用 | 財 政 局 | 特別会計における剰余金について、今後の経営状況を勘案した上で、一般会計で活用する。 |

使用料・手数料の見直しについては、現在検討中。

(2) 職員数の削減と人件費総額の抑制

| 見直し項目 | 局 室 名 | 見 直 し 内 容 |
|--------------------|--------|---|
| 職員数の削減と人件費総額の抑制 | 総務市民局 | 人件費については、職員8,000人体制に向け、平成20年度は、約180人削減される予定であるが、退職手当の増により、平成20年度は削減効果が相殺される見込み(平成21年度以降は削減効果が発生)。 |
| 職員の福利制度の改革 | 総務市民局 | 職員の福利事業について、事業主負担割合の引き下げなどを行い、健康保険組合運営の適正化を図る。 |
| 保育所の統廃合等 | 子ども家庭局 | 保育所運営の効率化と保育環境の充実を図るため、民間法人の協力のもと、民設民営方式による公立保育所の民営化と施設の建替えを進める。 |
| 直営保育所給食調理業務民間委託化事業 | 子ども家庭局 | 保育所の給食調理業務の民間委託化により経費節減を図る。 |
| 小学校給食調理業務民間委託化事業 | 教育委員会 | 小学校の給食調理業務の民間委託化により経費節減を図る。 |
| 焼却工場運営業務の民間委託化 | 環境局 | 日明工場の計量・プラットホーム業務を民間に委託する。 |
| 防疫業務の民間委託化 | 保健福祉局 | 防疫駆除業務を民間に委託する。 |

「ハートフル北九州」の構築に向けた市役所組織の再編については、現在検討中。

(3) 公共投資の重点化・抑制

| 見直し項目 | 局 室 名 | 見 直 し 内 容 |
|-------------|-------|-------------------------------------|
| 公共投資の重点化、抑制 | 財 政 局 | 事業の選択と集中を図りながら、引き続き総事業費の段階的抑制に努める。 |
| 一般競争入札の拡大 | 契 約 室 | 建設工事における一般競争入札の対象範囲を原則1千万円以上まで拡大する。 |

(4) 事務事業の一層の見直し

| 見直し項目 | 局 室 名 | 見 直 し 内 容 |
|-------------------------|-------|---|
| 外郭団体の見直し | 財 政 局 | 「北九州市外郭団体経営改革プラン（平成19年度策定予定）」を着実に進める。 自立・自主による経営体制の確立、市の関与（市派遣職員、市補助金等）の見直し・削減等を行う。 補助金の20%削減など（平成22年度まで） |
| 北九州ハイツの経営改革 | 保健福祉局 | 平成20年4月から、管理運営を民間事業者に移行（賃貸）する。 |
| 市社会福祉協議会への補助金の見直し | 保健福祉局 | 市社会福祉協議会は、寄付金等を自主財源としている。不足する運営費については市からの補助金で賄っているが、経営効率化等により運営補助金を削減する。 |
| (社)北九州港振興協会補助金の節減 | 港湾空港局 | 北九州港振興協会の会費収入の充実を図り、また管理運営経費等のコスト削減を図ることで、補助金を節減する。 |
| ごみ収集、まち美化などに関する委託事業の見直し | 環 境 局 | ごみ収集、道路清掃等の委託内容の見直しを行う。 |
| 市政だよりの見直し | 広 報 室 | より読みやすい紙面とするため、現在のA4判からタブロイド判に変更し、文字を大きくカラー化する。 また、編集業務を民間に委託化する。 |
| 特命随意契約の見直し | 会 計 室 | 特命随意契約を行っている業務委託について、競争性のある入札などに移行させ、事務の適正執行及び経費の縮減を行うための仕組みづくりを進める。 |
| 公共施設の維持管理費の見直し | 技術監理室 | 安全性や市民サービスの確保を前提に、公共施設の維持管理を見直し、コストの縮減に取り組む。 平成20年度は、ガイドラインに基づく合理化、エリア毎の委託業務の共同発注などを進める。 |

(4) 事務事業の一層の見直し(つづき)

| 見直し項目 | 局 室 名 | 見 直 し 内 容 |
|---------------------|-------|--|
| 公園・街路除草の見直し | 建 設 局 | 公園や街路植栽部の除草業務において、利用に支障の少ない箇所の除草期間を延ばすなど業務内容の見直しを行い、利用状況に合わせたメリハリのある除草を計画的に行う。 |
| 河川や水路の補修の見直し | 建 設 局 | 河川や水路の補修を行う際、状況に合わせて、より適切な補修方法を選定することで見直しを図る。 |
| 下水道の合流式ポンプ場の遠隔集中監視化 | 建 設 局 | 下水道の合流式ポンプ場を浄化センターから遠隔集中操作できるように機器の整備を行い、委託費を削減する。 |
| 総合消防情報システム | 消 防 局 | 保守業務委託を見直す(常駐人員及び点検回数の削減、点検単価の見直し)。 |
| 公用車管理事務の見直し | 総務市民局 | 各課で管理している公用車の共用化を推進し、台数の適正化(減車)を図る。 平成20年度は、車両10台減車し、車両購入経費を削減する。 |

事務事業の見直しについては、今後、さらに検討を行う。